

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 小川通周辺地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 小川通の無電柱化及び道路修景整備。【頁7-4】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線類を地中化する電線共同溝工事(本体工事)を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】<文化・芸術のまち京都>の歴史的風致の環境を形成している小川通において道路の無電柱化や修景整備を着実に実施することにより、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

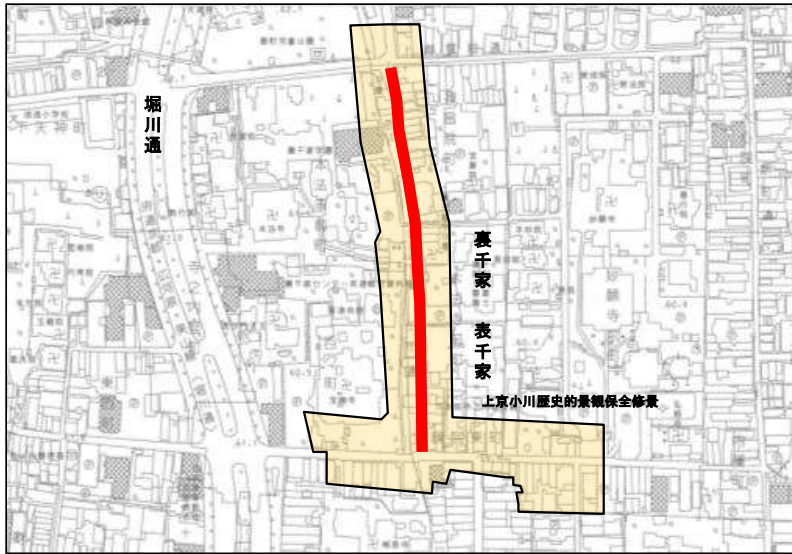
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

道路幅員が狭隘なため施工性が悪く、施工時間の制約に伴い工事期間が長期化している。

状況を示す写真や資料等



小川通整備箇所図



小川通(整備前)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 三条周辺地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成28年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 三条通及び新町通、室町通の道路修景整備及び一部無電柱化。【頁7-5】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度に引き続き、事業着手に向け、関係機関と協議を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致の環境を形成している三条通、<ハレとケのまち京都>の歴史的風致の環境を形成している新町通、室町通の無電柱化や修景整備を着実に実施することにより、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

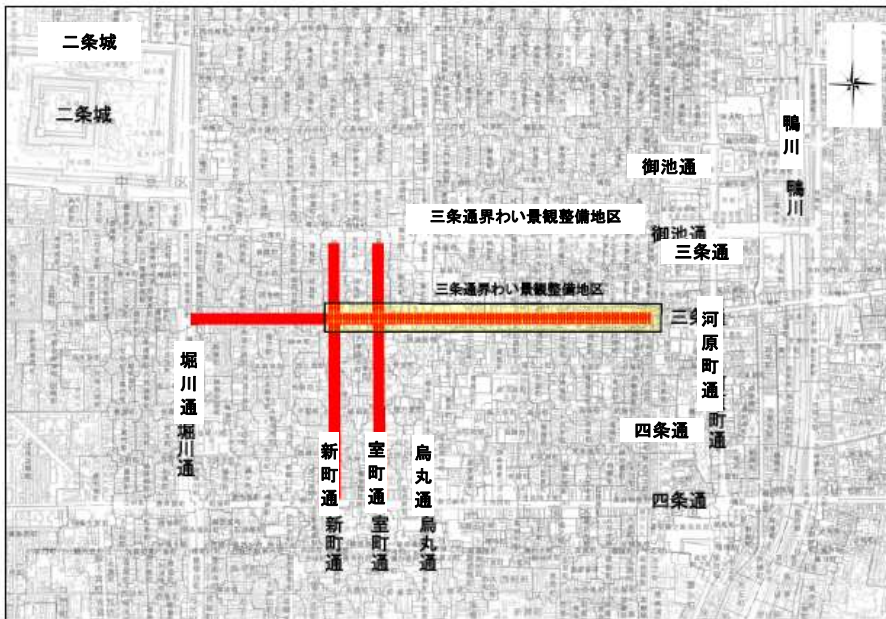
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

整備に要する費用負担や、地上機器(関連設備)の設置場所に関して、関係機関と協議する。

状況を示す写真や資料等



三条周辺地区整備箇所図



新町通

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
道路修景整備事業 清水周辺地区		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

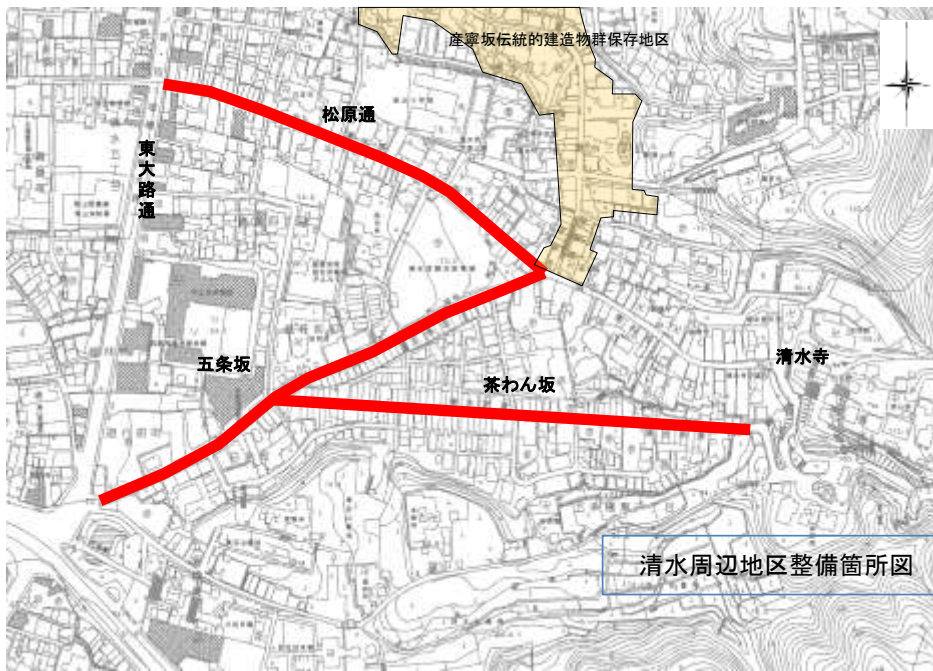
事業期間	平成23年度～平成28年度
支援事業名	平成23・26～28年度：市単独事業，平成24年度：地域自主戦略交付金(内閣府)，平成25年度：社会資本整備総合交付金(国土交通省)
計画に記載している内容	東山地区において無電柱化及び道路修景整備。【頁7-7】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松原通(産寧坂～東大路通)において、電線管理者による入線・抜柱工事を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



清水周辺地区整備箇所図

松原通(産寧坂～東大路通)



施工前



施工後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
無電柱化等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	銀閣寺:平成21年度～, 嵯峨天龍寺:平成26年度～, 先斗町:平成27年度～
支援事業名	平成24年度:地域自主戦略交付金(内閣府), 平成25年度:社会資本整備総合交付金(国土交通省), 平成26年度～:防災・安全交付金(国土交通省)
計画に記載している内容	幹線道路や景観にとりわけ配慮すべき地区について, 電線共同溝の整備や架空線整理, 無電柱化事業を推進。 【頁7-9】

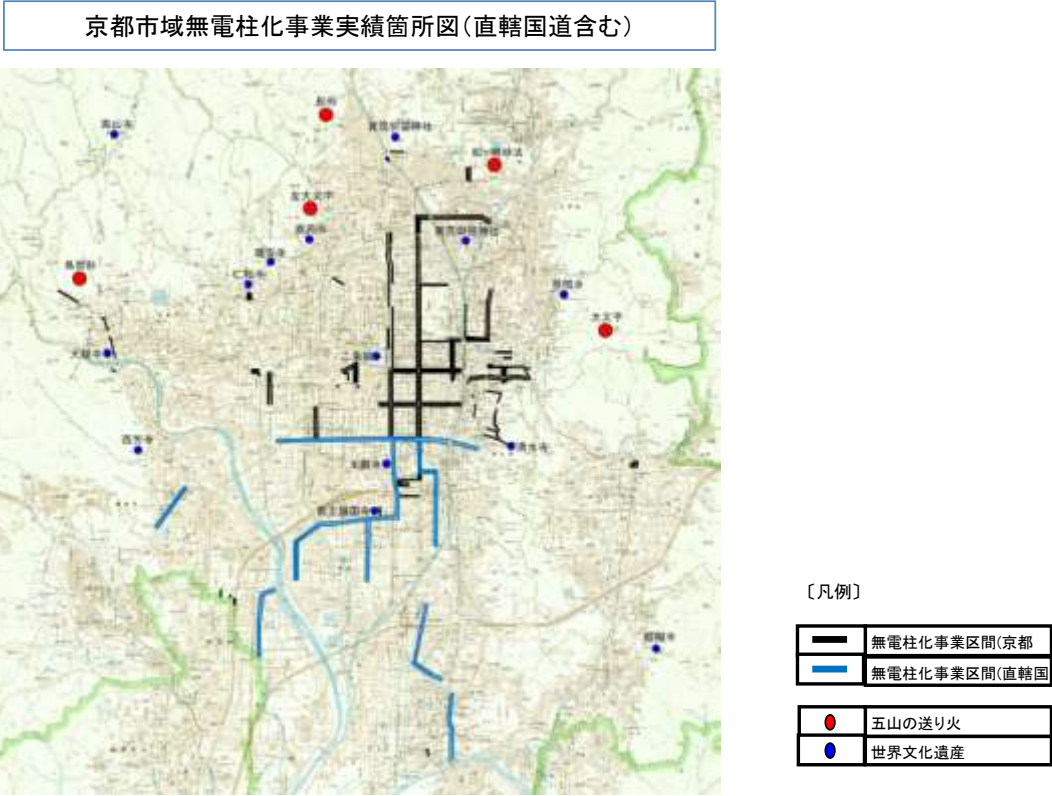
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【銀閣寺】:電線類を地中化する電線共同溝工事(本体工事)を実施。  
 【嵯峨天龍寺】【先斗町】:電線地中化を行うための平面・縦断計画等の詳細設計を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により, 町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化事業の実施にあたっては, 巨額の整備費用(幹線系1km当たり7億円, 景観系9億円)を要することや, 地上機器(関連設備)設置スペースの確保等の課題があるが, 引き続き, 積極的に無電柱化事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
無電柱化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和61年～

支援事業名 国直轄事業

計画に記載している内容 国道9号等で電線共同溝を整備。【頁7～10】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

抜柱に向けて、電線管理者と調整を行う。  
9号千代原地区で電線共同溝本体工事L=0.4km完了。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
横断防止柵等への間伐材活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 間伐材を利用した道路付属物等の設置。【頁7-11】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(京都御苑周辺道路)間伐材を使用した転落防止柵(L=195m)を設置。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な要素である道路付属物を町並みに調和した形で整備することで、歴史的建造物等と一体となった歴史的環境の向上が図られ、歴史資産と周辺の町並みを一体的に守られ、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進され、間伐材を利用することにより、自然と共生し、「木の文化」を大切にすまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

間伐材を利用した道路付属物



間伐材を使用した  
転落防止柵の設置状況



■ 整備箇所

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
観光案内標識の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和30年代～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	観光案内図板, 案内標識, 名所説明札等の維持管理, 整備。【頁7-13】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
名所説明立札の整備, 既存の観光案内図板及び案内標識の修繕等を実施。 平成27年度は, 名所説明立札の新設を5基, 修繕を8基実施。			
【歴史的風致・基本方針との関係】観光案内標識を適切に整備することにより, 人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">名所説明立札の新設・修繕</div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;新設&gt;</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">海宝寺駒札設置</div> </div> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">正行院(猿寺)駒札設置</div> </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;修繕&gt;</p>  </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">金戒光明寺駒札修繕</div> </div> </div>			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
観光案内標識アップグレード推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「観光案内標識アップグレード指針」に基づき、優先度の高いエリアについて観光案内標識を整備。【頁7-13】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「京都市観光案内標識アップグレード指針」に基づき、観光案内標識の整備を推進。平成27年度整備エリア(鞍馬・貴船エリア、京北エリア、高雄エリア、西山・大原野エリア、淀エリア、苔寺・桂離宮エリア、中心市街地)において、アップグレード観光案内標識を設置した。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な要素である観光案内標識を景観に調和した形で整備することで、歴史的建造物等と一体となった歴史的環境の向上が図られ、歴史資産と周辺の町並みが一体的になり、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

中心市街地エリア整備状況写真





評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度
		現在の状況
「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(防災・安全)(国土交通省)

計画に記載している内容 歴史的都心地区を中心とした「まちなか」で四条通の歩道拡幅と公共交通優先化等を推進。【頁7-17】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・四条通歩道拡幅工事完成(平成27年10月末)
- ・春の桜のシーズンに発生した渋滞への対策
- ・四条通エリアマネジメント会議を開催し、四条通沿道利用ルールを決定
- ・整備後の四条通の適正管理のための具体的な取組について、検討・実施していくため、「四条通沿道利用マネジメント部会」を3ヶ月に1回の頻度で開催

【歴史的風致・基本方針との関係】これらの取組により、歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し、人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

- ・歩道拡幅後の四条通におけるエリアマネジメントの推進
- ・四条通とその周辺細街路における通過交通の流入抑制の推進
- ・歩道拡幅に伴う効果検証の実施

状況を示す写真や資料等

●四条通の歩道拡幅の概要

市内最大の繁華街である四条通(烏丸通～川端通間)で公共交通優先化と歩行空間の創出を図るため4車線を2車線化し歩道を拡幅

平成24年 1月 都市計画決定  
平成26年11月 整備工事着手  
平成27年10月 整備工事完了

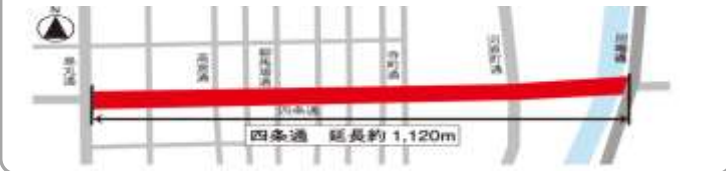
○区域:四条烏丸～四条川端 約1,120m

○車線の数:2車線(片側1車線)

※整備前の4車線(片側2車線)から車線を減少させ歩道を拡幅

○道路幅員:22m

※整備前の道路幅員から変更せず、歩道と車道の配分を変更



●整備前写真



●整備後写真



●主な整備項目

□歩道の拡幅

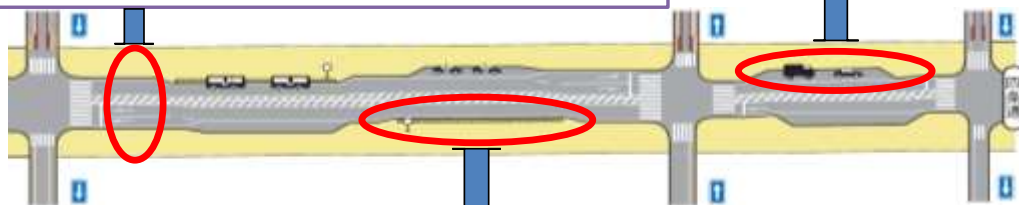
- ・歩道を最大2倍に拡幅
- ・4車線から2車線に変更



※歩道幅員は、バス停部や交差点付近など、必要に応じて増減します。

□沿道アクセススペースの設置

- ・人の乗降、5分以内の荷物の積卸のために利用できる沿道アクセススペースを15箇所(32台分)設置



□バス停の集約とテラス型バス停の設置

- ・現在、16箇所あるバス停を東行き西行き合わせて4箇所に集約
- ・歩道から張り出したバス停(テラス型バス停)を設置

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目	評価対象年度	平成27年度
		現在の状況
観光地交通対策		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成13年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	観光地である嵐山・東山において関係機関と連携した交通対策を実施。【頁7-19】	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
秋の観光シーズンに、交通の円滑化と安全快適な歩行空間を創出するため、京都府警察等の関係機関と連携の下、臨時交通規制等の交通対策をパークアンドライドと併せて実施。		
【歴史的風致・基本方針との関係】嵐山・東山は寺社が多く、<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域である。これらの取組により、歴史的風致を活かした歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し、人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p><b>【嵐山】</b></p> 	 <p><b>【嵐山地区】</b> 長辻通歩行者用道路の実施状況</p>	
<p><b>【東山】</b></p> 	<p><b>【東山地区(東福寺周辺)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○九条陸橋で停車する観光バスを臨時待機場へ誘導</li> <li>○JR・京阪東福寺駅から東福寺につながる道路の車両通行禁止などの臨時交通規制</li> </ul>	

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
御蔭橋改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 平成21～23年度：市単独事業，平成24年度：地域自主戦略交付金(内閣府)，  
平成25年度～：社会資本整備総合交付金(国土交通省)

計画に記載している内容 御蔭橋を拡幅する改修工事を実施。【頁7～22】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25～26年度：詳細設計を実施  
平成27年度：下流側半断面の下部工事に着手

【歴史的風致・基本方針との関係】<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致の環境を形成している御蔭橋を歴史にふさわしいデザインで整備することで、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周辺景観と調和が取れ、市民の皆様から愛される地区に応じたデザインにする必要があるため、学識経験者や地元関係者からご意見をお聞きする「京都市御蔭橋景観検討会議」を開催した。

状況を示す写真や資料等



現況写真①(左岸下流より)



現況写真②(右岸下流より)